

2025.3.25

法学部法律学科

公務員試験受験体験談

・合格した職種

北海道警察

・大学4年間のうち、各学年で公務員試験に向けてどのような勉強をしていたか

大学に入学した時から警察官になることを目指してはいましたが、1年生の時は特に何も対策などはしませんでした。2年生になって、選択授業で公務員試験対策の授業を取ってからそのまま3年生でも続きの授業を取り、期末テストの勉強をするついでに公務員試験の勉強をするような方法でした。本格的に試験勉強を始めたのは3年生の冬頃からで、法学検定試験が終わってからそのままの姿勢で最低でも1日1時間は机に向かうようにしていました。特にLECの講座や塾などに通ったことはないです。

主な勉強内容としては、数的推理と判断推理を中心に解き方のパターンを覚えて、問題集から勉強したり大学の授業で使う問題集を何回も解き直したりして、数的推理や判断推理というものに慣れていきました。暗記科目よりも時間がかかる科目なので、少しでも時間をかけずに解けるようにしようと思って勉強しました。

・公務員試験を受ける上で役に立った大学の講義

公務員対策特別演習

行政学特論

キャリアスキル基礎・応用

・勉強が辛い時期があったか。またそれをどう乗り越えたか。

判断推理などを中心に勉強していたため、ずっと解いていると数字だけでなく色々な場合分けを考えていかなければならないため、沢山考えすぎて頭が疲れて嫌になることが多々ありました。なので、嫌になった時や勉強が進まない時はすぐにやめて、友達と遊びに行ったりなどリフレッシュして勉強のことを忘れて疲れを取るようにしていました。その分やる気がある日は何問も解くようにして、さぼった分を取り返すようにしていました。

もともと高校生の時は理系クラスに所属していて、数字や計算を嫌と感じることはなかったなのでその日の気分で数字が見たくなかったら暗記科目を勉強していました。

・大学時代もっと取り組んでおけばよかった、勉強しておけばよかったと思うこと

同じ学年の人たちのなかでも公務員試験の勉強を始めるのが一番遅かったと思うので試験当日までの余裕がなく、暗記科目よりも馴染みの少ない数的推理、判断推理を主に勉強することになってしまったと感じています。もっと早く勉強し始めていたら、暗記科目にもより目を通して自信を持って試験に臨めたと思います。

また、大学1，2年の頃は勉強をせずアルバイトと遊ぶことばかりだったため、試験直前じゃない時間のあるうちにいくつか資格を取っておけば面接時に自己PRで話せる内容を増やすことが出来たと思います。実際にその時期は大学生活を楽しむことも大事ですが1番時間に余裕がある時期でもあるので有効活用することも大事です。

・面接の内容

面接会場までどうやって来たか

志望動機

今まで警察官と関わったことはあるか

警察官を目指している上で、生活の中で気を付けていることはあるか

職を転々とする人についてどう思うか

アルバイトを続けて勤務することの中で気を付けていることはあるか

部活動で担っていたポジションで大変だったことはあるか

SNSを使用するのに気を付けていることはあるか、トラブルについてどう思うか

マッチングアプリを利用したことはあるか

警察学校を辞めてしまう人に対してどう思うか

集団生活をする上で不安なことはあるか

班行動で対立した場合どうするか、中立の立場になった場合どうするか

飲酒時に友人に「車で送ってほしい」と言われたらどうするか

ギャンブル、借金をしたことはあるか、する人についてどう思うか

ゲームはするか、課金をしたことはあるか

興味、関心があった事件などはあるか

予定を組んでいた前日や当日に出勤を求められたらどうするか

命に関わる仕事だが、親に反対されなかったか

尊敬している人物はいるか

・面接対策としてやっておいた方が良かったこと

学内のものでも面接練習は必ず行った方がいいです。練習である程度受け答え出来るようになって本番になると全然言葉が出てこなくなるので、完璧に一言一句答え方を覚えるのではなくて伝えたいことをアバウトに覚えていって、本番は自分の言葉で面接官に伝えられたら大丈夫だと思います。警察の面接は堅苦しいイメージがありますが、意外と思ったよりラフな感じで笑顔も見えるような面接なので、予想していなかった質問が来ても落ち着いて考えることができます。そして、私はアルバイトで飲食をやっていたので初対面の年上の人と話すことに慣れていましたが、あまり人と話すことのないアルバイトをしている方は話す練習も大事だと思います。

また、面接をきっかけに自分がどのような人間であるのか自己分析をした方が長所や短所を聞かれたときに答えやすいです。マイナビなどの就活アプリで自己分析をさせてくれたりもしますが、就活については直接話を聞いた方が現実味を帯びやすいので職業と人生など大学の就活系の授業を取ると自己分析のほかにも姿勢や所作などのアドバイスを頂けたりするので、それも1つの手かと思います。

・その他公務員合格のために大事だったこと

私は部活の1個上の先輩に警察官採用試験に合格した方が2人いたので、その先輩から試験の内容や雰囲気がどんな感じだったか、面接でどんなことを聞かれたかなどを詳しく教えてもらっていました。仲の良い先輩だったため、同じ職場に就きたいという気持ちでも頑張ろうという心を芽生えさせることが出来ていたと思います。また、法学部には一定数警察官だけでなく公務員になりたいという学生がいると思うので、同じ目的を持った友達を見つけて一緒に勉強したり、面接などの情報共有をすることで自分のモチベーションを下げずにいられるのではないかと思います。

・就活についてのアドバイス、後輩たちへのメッセージ

公務員試験本番の頃にはもう民間企業に就職が決まっている人が周りにちらほら出てきていると思います。周りに内定を貰っている人が多いからと言って焦ってしまうと試験に失敗しかねないと思うので、あまり気にせず自分のペースを維持していきましょう。ただ、勉強だけだとなかなか苦しいときもあるので、友達や家族との時間、アルバイトで気持ちを切り替えてモチベーションをなくすことのないように頑張ってもらいたいと思います。後悔することのないように全力で頑張ってください。皆さんの努力が報われるように祈っています。